

---

## 平戸果樹の里

バス停「坂下口」からほぼ北へなだらかな坂道が旧東海道「品濃坂」の Teppen 辺りへと続いている。この「坂下」という地名は、旧東海道の坂上地区の下にあるという意で字名でもある。

この坂道の東側高台は下から「市立平戸中学校」「平戸みはらし公園」「市立平戸小学校」となっている。

そしてこの坂道の周辺には昔からの農家が点在し果樹園や畑が連なるのどかな風景を醸し出している。

この辺りは廻りをグルッと住宅に取り囲まれていながら不思議というか奇跡というか「市街化調整区域」なのである。

聞くところによると、昭和59年（1984年）にそれまで「市街化区域」だったものを農業の存続に拘り逆線引きで「市街化調整区域」になったという歴史があるという。

そして、昭和61年には市の農業専用地区の指定を受け、今日に至っている。

現在この農業専用地区内で6軒の農家が果樹園を経営していて通称「平戸果樹の里」として数種類の果樹を栽培している。



平戸果樹の里の看板(平戸町)

地区内にある看板には次のような来歴が書かれている。

### 「平戸果樹の里」

ようこそ平戸果樹の里へここは横浜市の農業専用地区に指定されています。

このあたりは昔、東海道の街道筋で茶屋などがありました。いまは梨などの観光果樹園が多く、しずかなたたずまいのふるさとなっています。

都市の中のオアシスとして、ご利用いただくよう努力しますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。

横浜市緑政局

平戸農業専用地区協議会

また、旧東海道筋の柴田農園の前には立て看板が建っていて6軒の農園名と電話番号が書かれている。

柴田農園・相沢農園・三枝木果樹園・岩崎果樹園・宇佐美果樹園・岩崎園の6軒である。

プライベートな話であるがその内、宇佐美果樹園を経営している宇佐美氏はミスターKの小学校・中学校での同級生である。

また彼は地域でもいろいろ活躍していて、特に「平戸お囃子連」に関

わり、同お囃子連育ての親でもある。

いまでも時々お目にかかることがあるがかつてはお囃子興業でアメリカにも行ったとか懐かしそうに話している。

余談であるが昔はどここの村にも「お囃子連」があり神社の祭礼でピーヒャラやったりお正月には獅子舞で各家を回っていたものである。

しかし現今ではなかなか後継者が育たずいつの間にか姿を消しつつある。

ところで、これらの果樹園で何を栽培しているかというとなンバー1は梨で「浜なし」というブランドで「かながわの名産100選」にも名を連ねている。

種類としては「幸水」と「豊水」がメインでそのほかにも、「菊水」など数種類の梨を栽培しているそうである。

梨の収穫期は概ね7月中旬から9月中旬までで果樹園は入場料なしで入れ観光客がもぎ取った分だけ秤にかけて売っているそうである。そのほかではごく少量であるが、ぶどう・柿・蜜柑などもやっているとのこと。

こんな大都会の中で、自然に触れながらフルーツ狩りができる貴重な空間、是非頑張って続けて頂きたいものである。